

2016年3月18日

特定非営利活動法人 日本頭頸部外科学会
理事長 北野 博也 先生

謹啓

春寒の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴学会は日本がん治療医認定医機構の認定医更新の際の学術大会として認定され、がんの標準治療実施に関して定評があると存じております。

特に進行がんの診療におきましてはエビデンスを目の前の患者に応用する際に、患者の価値観を尊重して臨床的意思決定を行ったりすることが極めて重要となります。最適な治療を導入、継続するためには、患者にしっかり向き合って情報を適切に伝えると共に、患者の感情に対処するという二つのコミュニケーション技術が必須となります。コミュニケーション技術については、教科書や講義のみでは行動変容は期待されず、ロールプレイを通して実際に経験することが必要です。スイスや英国では、腫瘍内科専門医試験受験資格として最低3日間のコミュニケーション技術研修（CST）受講が必須となっております。

これまで、国立がん研究センターが中心となってCST:SHAREプロトコルを開発し、2007年度より厚生労働省委託事業として日本緩和医療学会・日本サイコオンコロジー学会が2日間のCSTを開催し、1100名を超える修了者を輩出してきました。本CSTでは模擬患者を相手に、難治がん、再発、抗がん治療の中止を伝えるという内容を扱います。この有用性に関しては、国立がん研究センター医師の協力のもと、CST有無のランダム化試験を行い、その結果、参加医師のコミュニケーション行動の改善のみならず、担当する患者のストレスの改善、医師への信頼向上が有意に認められました(Fujimori, et al: JCO 2014)。

この度、貴学会専門医の申請資格もしくは更新資格のためのポイント対象の一つとしてCSTをご活用いただきたくお願い申し上げる次第です。がん診療医として極めて有用と考えております。以上、何卒ご検討の程お願い申し上げます。

敬具

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 理事長 細川豊史
一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会 代表理事 明智龍男



SHARE

Supportive environment
How to deliver the bad news
Additional information
Reassurance and
Emotional support

2015 年度コミュニケーション技術研修会 タイムスケジュール

(受講者用)

1日目

	内容
10 : 00	受付開始、アンケート記入
10 : 55 ~ 11 : 05	あいさつ
11 : 05 ~ 12 : 30	講義 他己紹介・グループワークなどの説明
12 : 30 ~ 13 : 20	昼食
13 : 20 ~ 14 : 20	ロールプレイ 1 回目
14 : 20 ~ 14 : 30	休憩
14 : 30 ~ 15 : 30	ロールプレイ 2 回目
15 : 30 ~ 15 : 40	休憩
15 : 40 ~ 16 : 40	ロールプレイ 3 回目
16 : 40 ~ 16 : 50	休憩
16 : 50 ~ 17 : 50	ロールプレイ 4 回目
17 : 50 ~ 18 : 00	まとめ (各グループ)
18 : 00	終了

2日目

7 : 50	集合
8 : 00 ~ 9 : 00	ロールプレイ 5 回目
9 : 00 ~ 9 : 10	休憩
9 : 10 ~ 10 : 10	ロールプレイ 6 回目
10 : 10 ~ 10 : 20	休憩
10 : 20 ~ 11 : 20	ロールプレイ 7 回目
11 : 20 ~ 11 : 30	休憩
11 : 30 ~ 12 : 30	ロールプレイ 8 回目
12 : 30 ~ 13 : 10	休憩 (昼食) ※模擬ロールプレイ場面の撮影 (希望者)
— 昼食後移動 —	
13 : 10 ~ 13 : 40	アンケート記入
13 : 40 ~ 14 : 20	全体のまとめ
14 : 20 ~ 14 : 30	写真撮影
14 : 30	解散

平成 27 年度厚生労働省委託事業 **がん医療に携わる医師に対する**

コミュニケーション 技術研修会

「悪い知らせ」を伝えられることは、患者とその家族にとって衝撃的な出来事であり、その後の日常生活に大きな影響をあたえ、場合によっては治療の選択を誤らせることが知られています。また同時に「悪い知らせ」を伝える側の医療者にとっても大きなストレスを伴います。この研修会では、患者が納得した上で安心して治療法等の選択が出来るように、患者－医師間のコミュニケーションの質の向上を目的としています。

開催日程

東京
会場

第1回 - 2015年
12月12日(土) ~ 13日(日)
東邦大学看護学部 (大田区大森西)

東京
会場

第2回 - 2016年
1月 9日(土) ~ 10日(日)
東邦大学看護学部 (大田区大森西)

大阪
会場

第3回 - 2016年
1月30日(土) ~ 31日(日)
天満研修センター (大阪市北区)

東京
会場

第4回 - 2016年
2月13日(土) ~ 14日(日)
東邦大学看護学部 (大田区大森西)



落ち着いた環境下で、演技力に定評のある模擬患者を相手に合計8時間のロールプレイ実習を行います。

受講者の声

- 今までは「自分が話すこと」ばかりに注意を向けていましたが、この研修会を受講して「患者さんの言葉をよく聴き、受け止めること」が大切であるということ学びました。
- ロールプレイを通して、本を読むだけでは修得できないスキルを学ぶことができました。

会場は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご参照ください。

主催 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
受講資格 がん医療経験年数満3年以上の医師
時間(祝) 1日目 11:00 ~ 18:00 / 2日目 8:00 ~ 15:00
内容 難治がん、再発、抗がん治療の中止など悪い知らせを患者に伝えるロールプレイ (詳細はホームページでご確認ください)

共催 一般社団法人 日本サイコoncology学会
受講料 無料 (ただし、宿泊・飲食・交通費は自己負担)
定員 各会場 40名

●お申込方法

参加ご希望の方は、ホームページ (<http://www.share-cst.jp>) よりお申し込みください。

●お問い合わせ

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 CST 事業担当 〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 603B 号室
TEL:06-6479-1031 FAX:06-6479-1032 e-mail: cst@jspm.ne.jp